

MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型
(ロング・ショート型)

作成基準日:2024年6月28日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

運用実績等

ファンド概要	
設定日	2015年8月28日
信託期間	2025年8月27日
決算日	毎年2月,5月,8月,11月の各27日(年4回)
信託報酬率	2.035% (税抜 年1.85%)
基準価額	8,945円
純資産総額	167,105,260円

※決算日が休業日の場合は翌営業日となります。
※信託報酬率2.035%(税込)の他に運用成果に応じた実績報酬がかかります。

期間別騰落率		
当ファンド		参考指数
過去1ヶ月	+1.95%	+1.45%
過去3ヶ月	-8.73%	+1.69%
過去6ヶ月	+5.57%	+20.14%
過去1年	+1.53%	+25.59%
過去3年	-14.35%	+55.61%
設定来	+5.72%	+130.45%

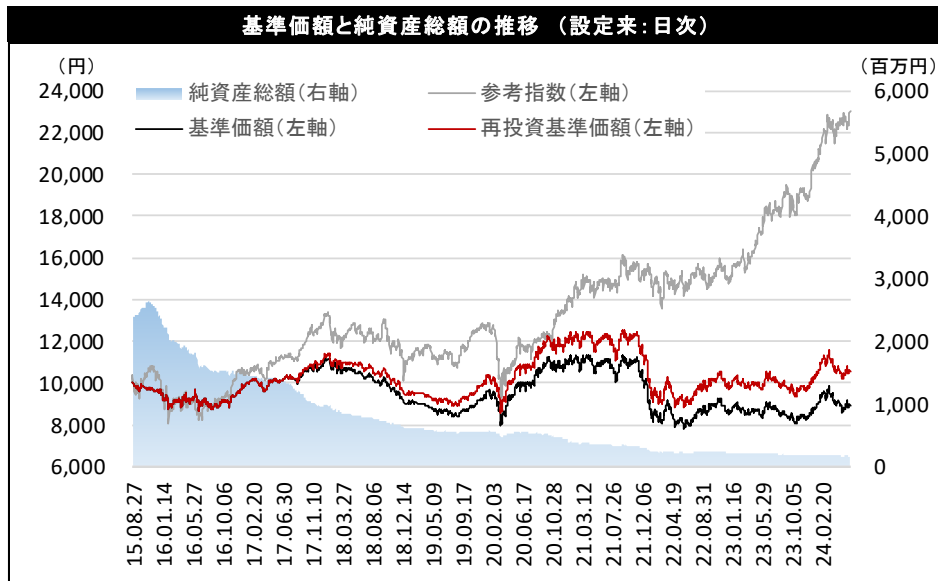
※税引前分配金を全額再投資したものと計算しています。

※参考指数は、TOPIX(東証株価指数 配当込み)を指します。

TOPIX(東証株価指数)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。昭和43年(1968年)1月4日の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものであり、日本経済の動向を示す代表的な経済指標として用いられるほか、ETFなどの金融商品のベンチマークとして利用されています。TOPIXは、JPX総研又はJPX総研のグループ会社の知的財産であり、TOPIXの算出、数値の公表、利用などTOPIXに関する権利はJPX総研又はJPX総研のグループ会社が所有しています。

分配実績(1万口当たり、税引前)	
設定来合計	1,600円
第33期(2023年11月27日)	50円
第34期(2024年02月27日)	50円
第35期(2024年05月27日)	50円

※直近3期分



※基準価額および再投資基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。詳細は後記の「ファンドの費用」をご覧ください。

※再投資基準価額の推移は、税引前分配金を全額再投資したものととして算出しているため、実際の受益者利回りとは異なります。

※参考指数は、ファンド設定日前日のTOPIX(東証株価指数 配当込み)を10,000とした指数を使用しています。

資産構成	
MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・マザーファンド	98.50%
現金など	1.50%
合計	100.00%

※マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態では高位に維持することを基本としますが、市況動向および資金動向などにより、異なる場合があります。

※追加設定の計上タイミングと投資対象の購入処理等のタイミングのずれ等により、比率が100%をこえる場合があります。

ハイ・ウォーター・マーク		
次回計算期間の終了日まで	10,343円	※決算日前営業日の公表基準価額が翌期のハイ・ウォーター・マークに更新されます。

※決算日に収益分配金が発生した場合には、決算日前営業日の公表基準価額から収益分配金を控除した価額が、翌期のハイ・ウォーター・マークとなります。

※信託報酬のほか、実績報酬を設けており、超過収益が発生した場合には収益の22.0%(税抜20%)が各決算日および償還時に支払われます。なお、実績報酬は超過収益に応じて発生するため、実質的な数値を表示することはできません。

※計算期間中にファンドの解約をした場合には、解約価額(基準価額公表から信託財産留保額を控除した額)が既に実績報酬を含んで算出されておりますので、追加で実績報酬が発生することはありません。

MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型
(ロング・ショート型)

作成基準日:2024年6月28日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

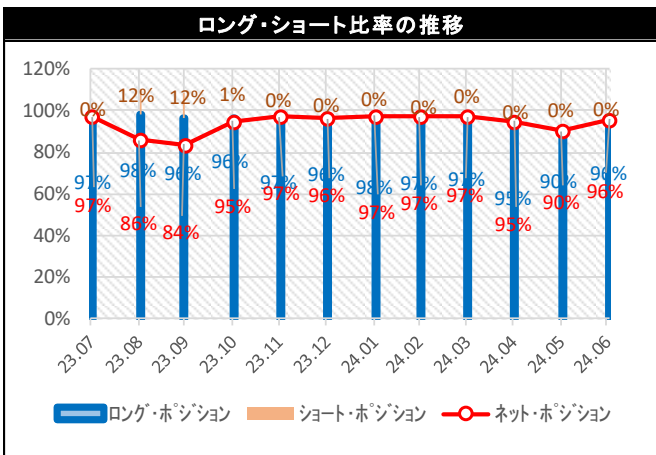
ポートフォリオ(マザーファンド)の状況

エクスポージャー	ロング・ポジション	ショート・ポジション
L/S エクスポージャー	95.92%	-0.29%
グロス・エクスポージャー	96.20%	
ネット・エクスポージャー	95.63%	

※エクスポージャーは、マザーファンドの純資産額に占める割合です。

流動性	ロング・ポジション	ショート・ポジション
1 日	98.65%	100.00%
3 日間	99.57%	100.00%
5 日間	100.00%	100.00%

※流動性は、25日平均出来高の20%を売買することを前提として、保有するポジションを全て解消した場合にかかる目安を表しています。

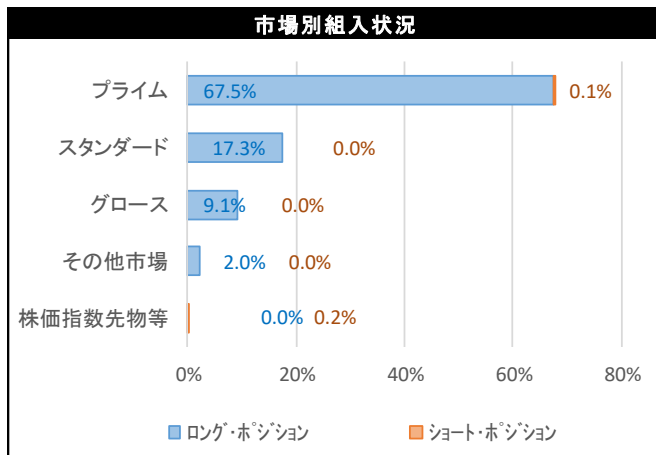


※ロング・ショート比率の推移は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。また、直近12ヶ月分を表示しています。

保有銘柄数	ロング・ポジション	ショート・ポジション
91 銘柄	90 銘柄	1 銘柄

※保有銘柄数は、組入れの株式と上場投資証券の数を表示しています。

時価総額別	ロング・ポジション	ショート・ポジション
5,000億円超	17.16%	0.00%
2,000億円～5,000億円	18.15%	0.00%
500億円～2,000億円	31.18%	0.00%
200億円～500億円	18.27%	-0.10%
200億円以下	11.17%	0.00%
株価指数先物等	0.00%	-0.18%



※市場別組入れ状況は、ロングとショートの各ポジションのエクスポージャーの状況を市場別で表示しています。

銘柄別組入れ上位5銘柄							
ロング・ポジション						ショート・ポジション	
銘柄コード	市場	銘柄名	業種等	純資産比	業種等	純資産比	
1	2884	プライム	ヨシムラ・フード・ホールディングス	食料品	4.16%	株価指数先物等	-0.18%
2	8136	プライム	サンリオ	卸売	2.34%	ガラス土石製品	-0.10%
3	2970	スタンダード	グッドライフカンパニー	不動産	2.20%	---	---
4	7453	プライム	良品計画	小売	2.11%	---	---
5	4347	スタンダード	ブロードメディア	サービス	2.11%	---	---

※上記内容は、マザーファンドの組入銘柄の紹介を目的として作成しましたが、記載銘柄の推奨を行うものではありません。

※上記内容は、作成基準日における情報を元に作成していますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。

※当ファンドでは銘柄入替を行うことがあるため、現在の銘柄と異なる場合があります。

※業種については、東証33業種をもとに分類しております。



MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型
(ロング・ショート型)

作成基準日:2024年6月28日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

マンスリーコメント

市況概況

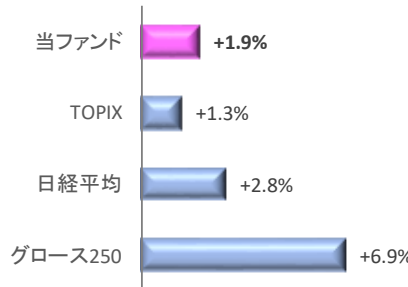
日本株については、日経平均株価+2.8%、TOPIX+1.3%、東証グロース市場250指数+6.9%となりました。

指数の結果だけ見ると堅調な展開に見えますが、実態は年初来でパフォーマンスが良かった銘柄の利益確定売りと考えられる動きが目立ち、日毎に株価を動かすファクターが目まぐるしく変わるという意味で、運用的には容易ではない月に思えました。東証33業種中、値上がりセクター14、値下がりセクター19と、値下がりセクターが有意に多くなったこともそれを裏付けているように思います。

月全体として見ると、米国の経済指標に左右されて米国金利見通しが頻繁に変わる中、ドル円は円の弱さが際立ちました。

TOPIXの内訳を見ると、TOPIX構成銘柄2,137社のうち、上昇1,411銘柄、下落711銘柄と上昇銘柄数が下落銘柄数の約2倍になりました。4月はリターンリバーサル動きでTOPIXの4月の下落率0.9%が示すよりはるかに印象が悪く、5月も物色に広がりがなく今後に不安を抱かせるような相場推移でしたが、6月も上昇銘柄数の多さが示すほどに明るい相場環境とは言い難い月となりました。

今月の月間推移騰落率



※上記記載の株価指数は配当込み指数ではありません。

※当ファンドの表記は、再投資基準価額ベースです。



MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型
(ロング・ショート型)

作成基準日:2024年6月28日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

マンスリーコメント

運用概況

当月の当ファンドの基準価額は、前月末比+1.95%の上昇率となりました。

まず、月中の日本株の動きについては、月初では日経平均株価で37,500円から39,500円のレンジでの方向感の乏しい展開を予想していたのに対し、6月実績（小数点切り捨て）は、安値37,950円、高値39,788円、終値39,583円と、概ね予想のレンジ内ではあるものの、後半はじり高となりレンジの上限をやや上回る推移になりました。

当月の日本株のセクター別パフォーマンスは、騰落率上位が、保険業、倉庫・運輸関連業、サービス業で、ゴム製品、電気・ガス業、海運業がワーストパーフォーマーとなりました。ファクター別に見ると、グロース株優位が顕著になり、サイズのには、大型株・小型株が強い一方で、中型株が弱い展開となりました。

当ファンドでは、Link-U社を提携先とした上で、ファンド運用を行っております。新たなスキームは、ソーシャルデータを分析対象とし、そこに人間の知見を加えた上で、有望な事業や会社を抽出し、そこから具体的な投資対象を選択していくことになります。従来より、当ファンドにおいては、「市場で十分に認知されていない投資材料の素早い捕捉」と、「当該投資材料を通じた適切な銘柄の発掘」の両方を目指した分析を行ってきました。今後も、「人間とAIの有機的融合」を通じた、運用の最適化を目指して参りますが、現在は、定期的なソーシャルデータの分析結果を基に、そこから得られる幅広いインプリケーションを人間であるファンドマネージャーが広範に引き出す形で、「人間主導による」新たな投資の種を見つける努力を行っております。

当月は、ロングサイドでは、引き続き、割安感の強い中小型株への積極投資スタンスを継続した一方で、ショートサイドは日経225プットオプションの買建てを中心に抑制的なポジション構築を行いました。その結果、当月は、東証グロース市場250指数の+6.9%に代表されるように、小型グロース株のパフォーマンスが堅調となり、TOPIXを上回る好調な結果となりました。

MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型
(ロング・ショート型)

作成基準日:2024年6月28日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

マンスリーコメント

今後の運用方針

昨年から今年3月まで勢いよく上昇してきた日本株の運用環境については、現段階で以下のような逆風も垣間見れる展開になっています。

- ① 米国経済弱含みの兆し台頭
- ② 中国経済の底打ちによる中国株再評価の動き
- ③ 企業から示された慎重な業績予想と、主力銘柄に関する業績息切れの兆し
- ④ 特定テーマに物色が絞られる展開
- ⑤ 日本で久しぶりに発生している金利上昇
- ⑥ フランス政局や米国大統領選に代表される政治リスク

特に、フランスの政局に代表される欧州政治リスクに関しては、本来的には「所詮よその国の問題」であり、影響が長期化するとは考えにくいですが、短期的に注意が必要です。

一方では、これまで日本株を支えてきた上に、今年後半はFRB（連邦準備制度理事会）の利下げと、それに伴う円高発生の可能性が現実化すると思われるため、過度の悲観に振れることも禁物だと思っています。上記6つの懸念が杞憂に終われば、日本株は上昇基調を保てると思います。

加えて、7月後半から第1四半期の決算発表が本格化しますが、その内容が通期ガイダンスと比べて堅調となる可能性は高く、その場合には、日本株は、この4月から6月の動きがさほど強くなかったことの反動で、夏休みシーズンをものともしない上昇を示す可能性もあると思います。

以上を勘案して、7月の日本株については、ドル円150円から160円程度を前提に、日経平均株価で39,000円から41,000円のレンジでの、久しぶりに4万円台回復の可能性が十分にある堅調な動きを予想します。

その中で、当ファンドでは、当月は、「第1四半期決算を契機とした株価リバウンドの可能性が高い銘柄」に特にフォーカスを当てて、ポートフォリオ構築をして参ります。それは、戦略を短期投資重視に変えるということではなく、あくまでも中長期的上昇の可能性を最重要ポイントとしながら、第1四半期決算の予想・実績をポートフォリオに濃く色づけしていくというイメージです。最近の株式市場は、日本株に限らないかもしれませんが、短期重視・中長期軽視や、マクロ経済予測（例えば金利上昇）の銘柄選択への安直な反映（例えば金利上昇で不動産株ネガティブ）などがそこかしこで発生し、結果として多大なミスプライシングが形成される上に、それがなかなか正されないという事態が多くの分野で見られると感じております。そのため、短期のミスプライスには安易に追従せず、中長期視点から割安と思える銘柄選択を重視し、市場のミスプライスの穴を突く形で、中長期投資のリターン極大化を積極的に追求して参ります。それが、4月から6月の運用低迷を挽回する最良の手法と考えています。ショートサイドにおいては、株価上昇の可能性をやや重く見て、株価指数先物の売建てや日経225プットオプションの買建てなどを通じた最小限のヘッジを行って参ります。

MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型
(ロング・ショート型)

作成基準日:2024年6月28日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

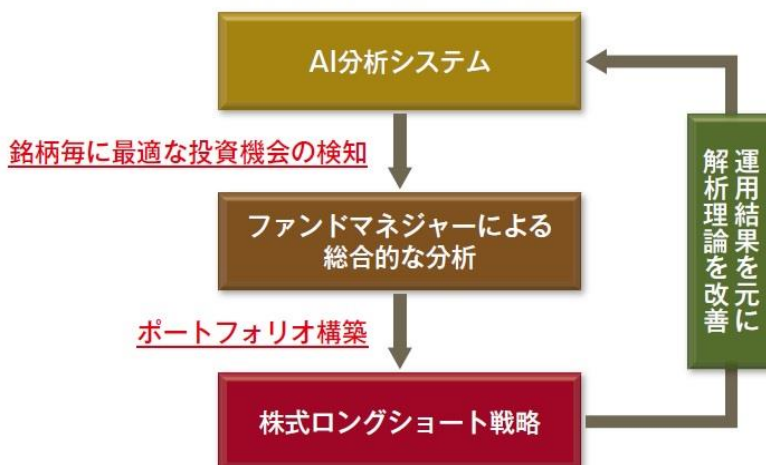
※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

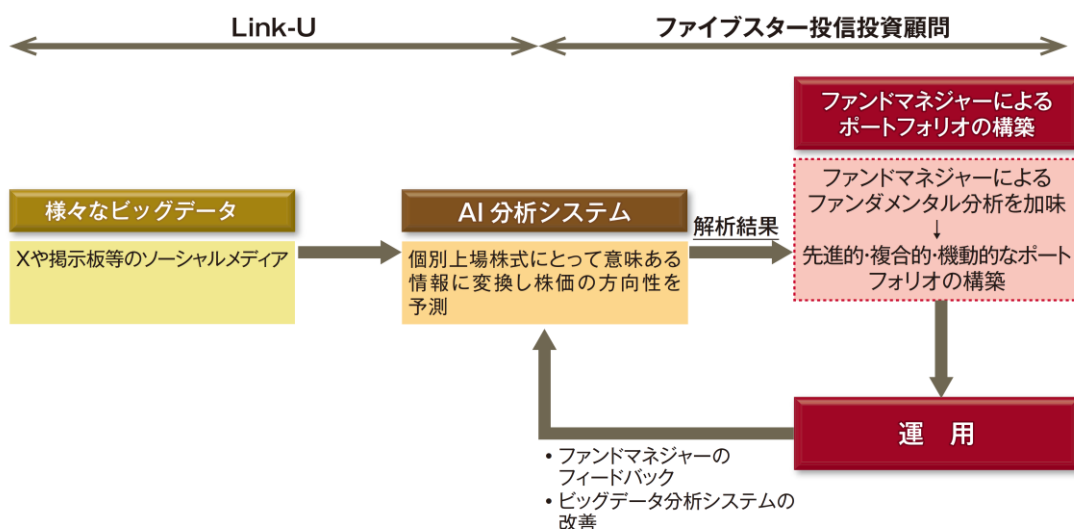
運用プロセス

「AI分析システム」による様々なビッグデータの統合的な分析を通じて、近未来の株価変動を予測し、その結果に基づいて買建て・売建ての最適な組み合わせのポートフォリオを構築します。

投資実行プロセスの概念図



システムプロセス



※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行えない場合があります。

☆☆☆☆☆ 株式会社Link-U の紹介

Link-Uは、自社設計のオリジナルサーバーを基軸としたデータ配信と、そのデータを適切に蓄積・分析・処理するAIソリューションを合わせて、ワンストップで提供するサーバープラットフォームビジネスを展開している。その中で培ったサーバーインフラ技術、データ処理技術、コンテンツ処理技術などが強みです。2019年7月に東証マザーズ上場、2020年7月に東証一部に上場市場を変更後、2022年4月に東証プライムに区分されています。



あなたに最適な
資産運用を。

ファイブスター
投信投資顧問

※ 後述の「当資料のご留意点」を必ずご参照下さい。

AB311158B-MR240628C

6/11ページ

MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型
(ロング・ショート型)

作成基準日:2024年6月28日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク等

基準価額の変動要因

信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

当ファンドは、投資信託証券(マザーファンド)への投資を通じて値動きのある有価証券などを実質的な投資対象としますので、当ファンドの基準価額は変動します。また、組入れられた有価証券等の価格の下落や、有価証券等の発行体の財務状況や業績悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被る場合があります。従って、受益者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。

ファンドの主要なリスクは、以下の通りです。

有価証券の価格変動リスク

当ファンドは、実質的に国内の株式等を主要投資対象としますので、当ファンドの基準価額は当該株式等の価格変動の影響を大きく受けます。株式等の価格は、国内外の政治・経済情勢、発行会社の業績・財務状況の変化、市場における需給・流動性による影響を受けて変動します。従って、株式等の予想外の価格変動があった場合には、当ファンドに重大な損失が生じる場合があります。当ファンドでは、中小型株式や新興企業株式に投資する場合がありますが、中小型株式や新興企業株式の株式は、大型株に比べ株価が大幅に変動することがあります。

ロングショート戦略固有のリスク

当ファンドが投資する投資信託証券(マザーファンド)は、株式のロング(買建て)のほかに、株式のショート(売建て)を行いますので、ロングした株式の価格が下落した場合、またショートした株式の価格が上昇した場合には、当ファンドの基準価額にマイナスの影響を及ぼし、場合によっては基準価額が大幅に下落する場合があります。また、ショートの特性上、損失が想定以上になることもあります(また、株式をショートするにあつては、借入コストが発生します)。

流動性リスク

市場取引量の急激な増大、市場規模の縮小、市場の混乱等の影響により、注文時に想定していた価格と大きく異なる価格で売買が成立する可能性があります。従って、組入れ有価証券等の予想外の流動性があつた場合には、当ファンドに重大な損失が生じる場合があります。一般に中小型株式や新興企業株式の株式は、市場規模や取引量が少ないため、このような状況に陥る可能性が高い場合があります。

信用リスク

当ファンドは、投資信託証券(マザーファンド)への投資を通じて、実質的に投資している有価証券の発行体において、経営不振、その他の理由により債務不履行が発生した場合、またはそうした事態が予測される場合等には、当該発行体が発行する有価証券の価格は大きく下落し、基準価額が値下がりする場合があります。

解約による資金流出に伴うリスク

一部解約金の支払資金を手当てするために、当ファンドが投資する投資信託証券(マザーファンド)において、組入れている有価証券等を大量に売却する場合があります。この場合、市場規模や市場動向によっては、有価証券等を当初期待された価格で売却できない場合があり、当ファンドの基準価額が値下がりがする要因となります。

その他のリスク

株式市場の状況によっては、株式の売買が数多く発生し多額の売買コストが発生する可能性があります。
(ご注意)上記は、ファンドにおける基準価額の主な変動要因であり、変動要因はこれに限られるものではありません。



MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型
(ロング・ショート型)

作成基準日:2024年6月28日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ご留意点等

その他のご留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 当ファンドは、預金や保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンド購入価額によっては、分配金の一部または全部が実質的には元本の一部払戻に相当する場合があります。

分配方針

毎年4回(2月、5月、8月、11月の各27日。ただし、休業日の場合には翌営業日とします。)決算を行い、以下の方針に基づいて収益の分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないこともあります。
- 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益について、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、運用を行います。

※将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。

当資料のご留意点

- 当資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- 当資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。
- 当資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。
- 当資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された市況や見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。
- 当資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。
- お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。



MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型
(ロング・ショート型)

作成基準日:2024年6月28日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

お申込メモ

購入単位	1口または1円単位として販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込日の基準価額とします。
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	1口単位として販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認ください。
換金価額	換金(解約)受付日の基準価額に信託財産留保額を控除した額
換金代金	原則として換金(解約)受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として午後3時*までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、1億口または1億円以上の換金(解約)請求は、正午までをお願いします。
購入・換金・申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金(解約)の受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金(解約)申込みの受付を取消す場合があります。
信託期間	原則として2025年8月27日までです。(2015年8月28日設定)
繰上償還	次のいずれかの場合等には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託者と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること(繰上償還)ができます。 <ul style="list-style-type: none">● 受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合● やむを得ない事情が発生したとき● 繰上償還することが投資者のために有利であると認めるとき
決算日	毎年4回(2月、5月、8月、11月の各27日。ただし、休業日の場合には翌営業日)
収益分配	年4回、毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。
信託金の限度額	ファンドの信託金の限度額は5,000億円です。
公告	電子公告により行ない、委託会社のホームページに掲載します。 ホームページアドレス https://www.fivestar-am.co.jp なお、やむを得ない事由により公告を電子公告によって行なうことができない場合には、公告は日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	毎年2月、8月の決算時および償還後に交付運用報告書を作成し、知っている受益者に交付します。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの対象ではありません。 配当控除の適用があります。 益金不算入制度は適用されません。

※なお、2024年11月5日より東京証券取引所の取引時間が午後3時30分までに変更される予定です。これにより、ファンドの申込締切時間が変更される場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。



MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型
(ロング・ショート型)

作成基準日:2024年6月28日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	<ul style="list-style-type: none">購入申込日の基準価額に申込口数を乗じて得た額に、上限を3.30%(税抜 3.0%)として、販売会社が定める料率を乗じて得た額とします。購入手数料は、販売会社による商品・投資環境の説明および情報提供、並びに販売の事務等の対価です。
信託財産留保額	<ul style="list-style-type: none">一部解約申込日の基準価額から、当該基準価額に0.3%の率を乗じて得た額とします。信託財産留保額は、ご換金(解約)額から控除され、投資信託財産に組入れられます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	当ファンドの運用管理費用 (信託報酬)(年率)					年率1.85%	運用管理費用＝ 日々の純資産総額×信託報酬率
	運用管理費用 (信託報酬) の配分	純資産総額	30億円以下 の部分	30億円超 50億円以下 の部分	50億円超 の部分		
		委託会社	年1.03%	年0.98%	年0.93%	委託した資金の運用の対価	
		販売会社	年0.75%	年0.80%	年0.85%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類 の送付、口座内でのファンドの管理等の対価	
		受託会社	年0.07%			運用財産の管理、委託会社からの指図の実 行の対価	
	※表中の率は税抜きです。別途、消費税がかかります。 ※信託報酬のほかに、実績報酬(ハイ・ウォーター・マーク方式)を設けており、超過収益が発生した場合には収益の22.0%(税抜 20%)が各計算期末および償還時に支払われます。なお、当該費用は超過収益に応じて発生するため、実質的な数値を表示 することができません。						
その他の費用・ 手数料	以下の費用・手数料等は、信託財産中から支払われます。						
	法定書類の作成・印刷・交付に 係る費用		有価証券届出書、有価証券報告書および臨時報告書(これらの訂正に係る書類を 含みます。)、運用報告書の作成、印刷および提出に係る費用				
	監査費用		監査法人等に支払う信託財産の財務諸表の監査に要する費用				
	信託財産の計理業務および これに付随する業務に係る費用		信託の計理業務(設定解約処理、約定処理、基準価額算出、決算処理等)および これに付随する業務(法定帳票管理、法定報告等)に係る費用				
	信託事務の処理に関する費用		信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた 立替金の利息、信託財産において資金借入をした際の利息				
	組入る有価証券取引に伴う費用		組入る有価証券の売買の際に仲介人に支払う売買委託手数料等				
	公告に係る費用		信託の受益者に対して行なう公告に係る費用ならびに信託約款の変更または 信託契約の解約に係る事項を記載した書面の作成、印刷および交付に係る費用				
	法律顧問および税務顧問に 対する報酬および費用		法律顧問ならびに税務顧問等に支払う信託財産に関する法律・税務に対する 助言等の費用				
※これらの費用等は、運用の状況等により変動するため、料率、上限等を予め表示することはできません。							

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。



MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型
(ロング・ショート型)

作成基準日:2024年6月28日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの関係法人

委託会社: 信託財産の運用指図等を行います。

委託会社の照会先

ファイブスター投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2266号
一般社団法人投資信託協会会員 一般社団法人日本投資顧問業協会会員ホームページアドレス
<https://www.fivestar-am.co.jp/>
お客様デスク
03-3553-8711
(受付時間:委託会社の営業日の午前9時~午後5時まで)

受託会社: 信託財産の保管・管理業務等を行います。

三井住友信託銀行株式会社
(再信託受託会社:株式会社日本カストディ銀行)

販売会社: 受益権の募集・販売の取扱い、換金(解約)事務、換金代金・収益分配金・償還金の支払い等を行います。

販売会社の名称等

お取り扱い 販売会社一覧		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
今村証券株式会社	金融商品 取引業者	北陸財務局長 (金商)第3号	○	○		
岡地証券株式会社	金融商品 取引業者	東海財務局長 (金商)第5号	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○		○	○
木村証券株式会社	金融商品 取引業者	東海財務局長 (金商)第6号	○			
共和証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第64号	○	○		
静岡東海証券 株式会社	金融商品 取引業者	東海財務局長 (金商)第8号	○			
日産証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第131号	○		○	○
三田証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第175号	○			
楽天証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○
リーディング証券 株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第78号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第61号	○	○	○	○
松井証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	○		○	

※加入している金融商品取引業協会を○で表示しています。

※上記の表は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が基準日時点で知りうる信頼性が高いと判断した情報等から細心の注意を払い作成したものです。その正確性、完全性を保証するものではありません。

ファイブスター
投信投資顧問あなたに最適な
資産運用を。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご確認下さい。

AB311158B-MR240628C

11/11ページ